

アセットオーナー・プリンシプルに関する取組方針

倉庫業企業年金基金（以下、「当基金」といいます。）は、アセットオーナー・プリンシプルの受入れ表明を行いました。本プリンシプルに関する取組方針は、以下のとおりです。

1. 運用目的に合った運用目標及び運用方針

当基金は、もっぱら加入者等の利益の増大を図るため運用目的を定め、経済・金融環境等を踏まえつつ、運用目的に合った運用目標及び運用方針を定め、状況変化に応じて適切に見直しを行います。

当基金は、確定給付企業年金法に定められている「基本方針」を定め、長期運用を前提に、必要な見直しを経ながら当該方針に基づき規律正しい運用を行っています。

当基金の運用の目的は、「基本方針」において「年金給付金および一時金等の支払いを将来にわたり確実に行うことを目的とし、許容されるリスクの範囲内で、必要とされる運用収益を長期的に確保すること」と定めています。

この目的を達成するため、積立状況、将来のキャッシュフロー予測、将来の各資産のリターン分布の予測から、ALM分析等に基づき、政策アセットミックスを策定し「基本方針」に規定しています。

政策アセットミックスの策定及び管理のため、年金資産全体を管理する者として、当該策定に必要となる経済、金融、証券投資の知識を有する運用執行理事を配置し、意思決定できる体制を整えています。

「基本方針」及び政策アセットミックスの策定・変更は、外部の運用コンサルタント会社の知見も活かし、「資産運用委員会」に諮問のうえ、理事会において議決します。

また、政策アセットミックスは、適宜検証を行い、ALM分析やストレステストなどによる積立水準の変化や前提となる諸条件の変化を踏まえ、必要に応じて見直しを行っています。

2. 運用目標・運用方針に照らして必要な人材確保などの体制整備

当基金は、「基本方針」に定める運用目標・運用方針に照らして必要な人材確保などの体制整備を行い、その体制が適切に機能するよう取り組みます。

年金資産の管理運用は、運用執行理事がその具体的な執行に当たり、執行状況について理事会が監督する体制により行われています。また、理事長は、運用執行理事とともに理事会に定期的に運用状況の報告を行い、運用方針等、年金資産の運用に関する重要事項について諮問のうえ助言を受けています。

運用に関する専門人材の登用・育成等に関しては、優秀な専門人材の獲得及び定着が図れるよう取り組みます。

なお、運用受託機関の選定について、運用コンサルタント会社と契約しており、また、スチュワードシップ活動について、「企業年金スチュワードシップ推進協議会」に参加し、体制を強化していきます。

3. 運用方法の選択、投資先の分散等リスク管理、最適な運用委託先の選定

当基金は、受託者責任を果たしながら運用目標の実現を図るため、運用方針に基づき、運用方法の適切な選択、投資先の分散、適切なリスク管理、最適な委託先の選定を行い、定期的に委託先の見直しを行います。

当基金は、独自に情報収集するとともに、運用コンサルタント会社からの情報提供を受けながら、運用受託機関及び運用方法について、幅広く比較検討し総合的に評価したうえで、委託先の選定及び運用方法の選択を行っています。

投資先の分散は、運用の目的を達成するために最も重要なリスク管理であり、運用対象資産の多様化、運用手法・スタイルや運用受託機関の分散など、あらゆる分散に努めています。運用対象資産の多様化については、伝統的資産や伝統的運用手法に加え、ヘッジファンド投資、不動産投資、インフラストラクチャー投資等、安定的インカム投資といったオルタナティブ投資への運用により、運用対象資産の多様化を図り、リスク管理及びポートフォリオ管理に取り組んでいます。

年金資産の管理は、資産管理専門信託銀行との契約により、全て分別管理されています。

なお、当基金は、独立した組織であり、運用受託機関との資本関係、人的関係、取引関係等に起因する利益相反は存在しません。

4. 運用状況についての情報提供（「見える化」）

当基金は、加入者等への説明責任を果たすため、運用状況についての情報提供（「見える化」）を行います。

運用概況については、年度末 5 か月後を目途にホームページに掲載し、一般に公表しています。加えて、年金資産運用の基本的考え方、「基本方針」等についても、ホームページに掲載し、一般に公表しています。

5. スチュワードシップ活動

当基金は、加入者等のために運用目標の実現を図るにあたり、委託先である運用受託機関を活用しつつ、企業年金連合会が設置する「企業年金スチュワードシップ推進協議会」に参加し、運用受託機関におけるスチュワードシップ活動のモニタリングについて、協働して「協働モニタリング」を実施することによって、投資先企業の持続的成長に資するように工夫をしております。

以上